

研究トピックス

ホソヘリカメムシの発生予察手法

ダイズの莢や子実を加害し、品質を低下させる害虫ホソヘリカメムシの発生数の推移を把握するのに、乾式粘着トラップと集合フェロモンを用いた改良型トラップが有効であることが分かりました。このトラップを用い、現地で防除の適否や適期を判断する方法を検証しています。(環境基盤研究部)



改良型トラップに捕殺されたホソヘリカメムシ

ナス新品種「とげなし紺美」の栽培技術の確立

「とげなし紺美」の促成栽培においては、①台木品種は「赤虎」が適しており、②白黒ダブルマルチを利用し、③摘葉は冬期は強めに、春期は弱めに行うことがポイントです。これらにより、初期生育が確保され、安定的に収量が増え、品質が向上します

(園芸研究部)

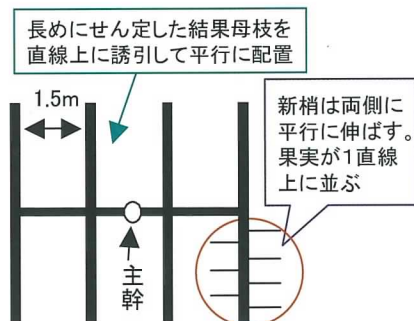


とげなし紺美

栽培試験

種あり「巨峰」の平行整枝長梢せん定栽培

種あり「巨峰」栽培のための新しい整枝せん定方法「平行整枝長梢せん定」を開発しました。この方法では、果実をつける枝(新梢)や果実を規則的に並べられるため、雇業者など経験の浅い人でも効率よく楽に栽培できます。(園芸研究部)



平行整枝長梢せん定栽培

鶏にストレスをかけない飼養管理方法

鶏の産卵量を増やすには一定の期間、絶食させ、産卵を休ませる(休産)が必要であり、鶏に大きなストレスがかかります。そこで絶食に代わり栄養価の低いふすま(小麦の皮)を配合した餌を与えて休産させる方法を開発しました。

これにより鶏のストレスが軽減され、高品質な卵を多く産むようになりました。

(畜産研究部)



編集・発行

愛知県農業総合試験場

〒480-1193愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-1
TEL 0561-62-0085 内線323(企画普及部)
FAX 0561-63-0815
<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>